

# 沼

おん ショウ  
ぬま

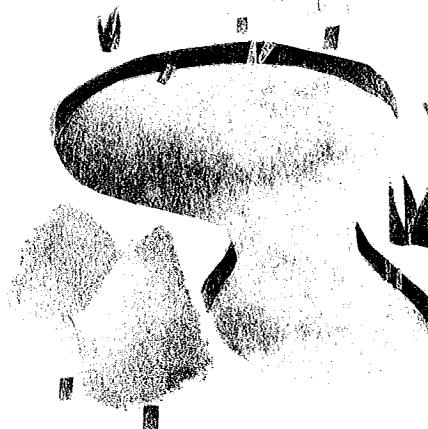
いみとじゅく(二)

# 沼

沼

おん チョウ  
こえむ・こす

いみとじゅく(三)



**なりたち** まねく意味の召と  
うとの会意形声字。川の流れ  
をまねき入れた水たまりとい  
う意味の字。湖や池に比べて  
水が浅く泥が深い“ぬま”的二  
とを言う。

画  
シ  
フ  
沢  
沢  
沼  
沼  
沼

沼沢：沼と沢。  
例沼沢地（低  
くて湿った、池や沼のある  
土地）。

12画  
ナ  
キ  
ヰ  
フ  
走  
カ  
超  
超

超過：一定の限度をこえること。  
例超過勤務・時間超過  
入超：「輸入超過」の略。一年  
間の輸入総額が輸出総額よ  
り多いこと。  
例出超

泥沼：どろが深い沼。また、  
一度入つたらなかなかぬけ  
出せない悪い状態のたとえ。

**なりたち** 召と走との会意形  
声字。主君のお召しにすぐに  
応じて走つて行くという意味  
の字で、途中に物があればそ  
れを”飛びこえ”て行くことを  
表す。“飛びこす”こと。“こ  
える”こと。転じて、ぬまん  
であること。チョウの音は召の  
なまり。

超音速：音が空气中を伝わる  
速さ（一秒間に約三四〇メ  
ートル）をこえる速さ。  
例  
超音速ジェット機



**超**：①普通よりはるかにぬ  
きんでていること。  
用例人  
間の力を超越した業績をあ  
げる。②世間的な事柄を気  
にかけないこと。  
用例利害  
を超越した態度を示す。

4画  
ノ  
司  
司  
司  
司

年  
はねる  
おん  
シ

**なりたち** 後の字を裏返した  
形の字で、后が物を賜る形で  
あるのに對し、司はそれを受  
ける形を表している。國君で  
ある后の命を受けてこれ  
を國民に伝達する“高級官吏”  
役人”を表した字。また、”つ  
かさどる（職務として行う）”  
こと。

5画  
ノ  
司  
司  
司  
司

いみとじゅく(一)  
役人。

司会：会の進行をつかさどる  
こと。また、その人。  
司令：軍隊などを指揮するこ  
と。また、その人。  
司書：図書館で本の貸し出し  
や整理などをする役目の人。  
司祭：カトリック教会で儀式  
を行ふなどを指揮する人。  
司教：司法・行司。

**なりたち** 役人の意味の司と  
ことの会意形声字。庶民は事  
げんをうかがいに参上する  
こと。  
用例人  
間の力を超越した業績をあ  
げる。②世間的な事柄を気  
にかけないこと。

超進退：①身分の高い人のご  
きげんをうかがいに参上する  
こと。  
用例人  
間の力を超越した業績をあ  
げる。②世間的な事柄を気  
にかけないこと。

**伺**  
いみとじゅく(二)  
うかがう  
尋ねる。

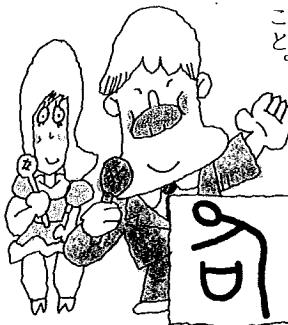
伺候：①身分の高い人のご  
きげんをうかがいに参上する  
こと。  
用例人  
間の力を超越した業績をあ  
げる。②世間的な事柄を気  
にかけないこと。

**伺**  
いみとじゅく(三)  
うかがう  
尋ねる。

進退伺い：仕事の上で重大な  
失敗をしたりして、辞職す  
べきかどうかを上司にうか  
がうこと。また、それを書か  
いた文書。

**伺**  
いみとじゅく(四)  
うかがう  
尋ねる。

よみかた  
超人・超党派・超満員  
超自然



**ミニ知識**  
司法権：法律によ  
り裁判する國家の機能權力の  
一つ。国家の中でこの司法権  
と立法権・行政権を分割し独  
立させ、独裁的な政治を防止  
し民主的な政治を保障するた  
めに考えられた。これを「三  
権分立」という。

司  
同



**なりたち** 役人の意味の司と  
ことの会意形声字。庶民は事  
げんをうかがいに参上する  
こと。  
用例人  
間の力を超越した業績をあ  
げる。②世間的な事柄を気  
にかけないこと。

**伺**  
いみとじゅく(一)  
うかがう  
尋ねる。

伺候：①身分の高い人のご  
きげんをうかがいに参上する  
こと。  
用例人  
間の力を超越した業績をあ  
げる。②世間的な事柄を気  
にかけないこと。

進退伺い：仕事の上で重大な  
失敗をしたりして、辞職す  
べきかどうかを上司にうか  
がうこと。また、それを書か  
いた文書。